



議会だより



新議場での活動始まる!!

新しい組織が決まりました

三月定例会

新体制決まる（議長・副議長あいさつ）	2P～3P
議案の審議結果（2月臨時会・3月定例会）	4P・11P・12P
議案の審議 そこが聞きたいQ&A（2月臨時会・3月定例会）	4P・6P～10P
高吾北広域町村事務組合報告（第1回定例会）	5P
一般質問（8人が質問）	13P～20P
コラム 石垣トマト、今が収穫期	17P
茶農家の店 あすなろ	20P
町長行政報告（子育て支援を強化ほか）	21P
教育長行政報告（高校生通学支援・奨学金の拡大ほか）	22P
議長一口メモ！	24P

10人の議員決まる (現職8人、新人2人)

任期満了に伴う議会議員選挙は1月16日告示され11人が立候補、1月21日に投開票され、現職8人、新人2人が当選しました。

任期は30年2月1日から4年間、2月7日に新議員による臨時会が行われ、議長・副議長・各常任委員などを選出し、新しい組織が決まりました。(順不同・敬称略)

1月21日執行	
当日有権者数	5,030人
投票者数	3,776人
有効	3,756票
無効	20票
投票率	75.07%

議長あいさつ



若藤 敏久 (5期目)

合併以降、懸案となつて
る人口の減少に歯止めがか
らず、農林業や商工業だけ
なく、議員を目指す若者も少
なく、各分野において後継者
不足は一段と深刻化しており
ます。

今後は後継者対策を念頭に
おき、町の課題解決に向け、議
員一丸となつて町民目線で活
発な提言を行い、議会活動が
町民の皆さんに周知できる体
制を整えていきたいと考えて
おります。

今後ともご理解を賜りますようお願い申し上げます。

副議長あいさつ



竹本 文直 (2期目)

このたび、臨時議会で議員
各位のご推挙で副議長を拝命
し、責任の重さを痛感してお
ります。

副議長として、議長を補佐
し、議会が公正かつ闊達な議
論を通じ、活気ある議会とな
るよう、また、議会改革を進
め、町民から信頼される議会
となるよう課題解決に向け取
り組みます。

今後ともご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

議会運営委員会

委員長 西森 常晴
副委員長 大野 弘
委員 左京 憲昌
委員 藤崎 源彦
委員 岡田 良成
委員 野村 安夫

総務教育民生常任委員会

委員長 藤崎 源彦
副委員長 左京 憲昌
委員 西森 常晴
委員 片岡 智準
委員 竹本 文直
委員 若藤 敏久

産業建設常任委員会

委員長 岡田 良成
副委員長 大野 弘
委員 西森 久雄
委員 野村 安夫
委員 竹本 文直
委員 若藤 敏久

国道439号改良促進特別委員会

委員長 野村 安夫
副委員長 西森 久雄
委員 大野 弘
委員 岡田 良成

議会だより特別委員会

委員長 竹本 文直

副委員長 左京 憲昌
委員 大野 弘
委員 藤崎 源彦
委員 野村 安夫

高吾北広域町村事務組合議会議員

議員 西森 常晴
議員 竹本 文直
議員 若藤 敏久

仁淀川町議会基本条例検討特別委員会

委員長 竹本 文直
副委員長 藤崎 源彦
委員 西森 常晴
委員 西森 久雄
委員 大野 弘
委員 片岡 智準
委員 左京 憲昌
委員 岡田 良成
委員 野村 安夫
委員 若藤 敏久

議会選出監査委員

左京 憲昌

各議員の委員会所属など紹介

 さきょう けんしろう 左京 憲昌 (1期目)	○総務教育民生 ○議会だより 議会運営 議会基本条例検討 監査委員 一言コメント 「町民の生活が最優先、 お気軽にご意見ご要望を お寄せください」	 にしもり つねはる 西森 常晴 (5期目)	◎議会運営 総務教育民生 議会基本条例検討 高吾北広域町村 事務組合議会議員 一言コメント 「血糖値が高くなり、薬 に頼らず、一日10kmのマ ラソンを選択しました」
 ふじさき もとひこ 藤崎 源彦 (2期目)	◎総務教育民生 ○議会基本条例検討 議会運営 議会だより 一言コメント 「ふるさとへの恩返し が原点。あなたの声を町政 に!!を実行します」	 にしもり ひさお 西森 久雄 (5期目)	○国道439号 産業建設 議会基本条例検討 一言コメント 「この4年間、頑張っ ていきます」
 おかだ りょうせい 岡田 良成 (4期目)	◎産業建設 議会運営 国道439号 議会基本条例検討 一言コメント 「議会は町民から信頼さ れる議会であり、町民の 声を大切に議員として信 念を貫く」	 おの ひろし 大野 弘 (1期目)	○議会運営 ○産業建設 国道439号 議会だより 議会基本条例検討 一言コメント 「町民の声を聞き誠意を 持って対応していき たい」
 のむら やすお 野村 安夫 (4期目)	◎国道439号 議会運営 産業建設 議会だより 議会基本条例検討 一言コメント 「仁淀川町住民が第一、 住民を大切に頑張ります」	 かたおか ともなり 片岡 智準 (2期目)	総務教育民生 議会基本条例検討 一言コメント 「創造性の議論と実のあ る条例制定で明日の仁淀 川町を目指す」

◎は委員長 ○は副委員長

委員会 議会運営……「議会運営委員会」
総務教育民生……「総務教育民生常任委員会」
産業建設……「産業建設常任委員会」
議会だより……「議会だより特別委員会」
国道439号……「国道439号改良促進特別委員会」
議会基本条例検討……「仁淀川町議会基本条例検討特別委員会」

議案の審議結果

平成30年第1回仁淀川町議会2月臨時会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
報告第1号	専決処分の報告について（平成29年度仁淀川町防災行政無線整備工事） ※変更前の金額 57,780,000円 ※変更後の金額 57,198,960円 当初、施工する予定であった、高吾北消防本部との光回線接続工事を、消防本部の回線補修業者が行うことになったため	原案報告	報告のみ
報告第2号	専決処分の報告について（物損事故に係る和解について） ※森地区で、町有自動車が近くの施設に衝突し損害を与えた事故		
報告第3号	専決処分の報告について（物損事故に係る和解について） ※日浦地区で、町有自動車が墓地の囲いに接触し損害を与えた事故		
議案第1号	仁淀川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について ※人事院勧告に基づく、勤勉手当、俸給表等の条例の一部を改正するもの	原案可決	全員賛成
議案第2号	平成29年度仁淀川町一般会計補正予算（第6号）について ※人事院勧告に伴う人件費の調整など522万2,000円補正し、補正後の金額を、93億5,650万円とする		
議案第3号	平成29年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定補正予算（第1号）について ※人事院勧告に伴う人件費の調整など99万7,000円補正し、補正後の金額を1億9,906万9,000円とする		
同意第1号	監査委員の選任について 住 所 仁淀川町二ノ滝137番地 氏 名 左京 憲昌 生年月日 昭和23年8月13日	同 意	

議案の審議

そこが聞きたい

— 第1回（2月）臨時会 —

Q & A

答 古味池川地域振興課長
9月議会での補正は、大屋地区の生活道の補正。当初予算決定後、地元から相



答 古味企画課長
1月上旬に出演依頼をいただいた。



問 大野議員
高知城歴史博物館イベントへの秋葉まつり出演依頼はいつあったか。
まちづくり推進事業費は、たびたび、補正が組まれているがなぜか。

秋葉まつり出演依頼の時期・補正予算を組む必要性は

談があつたため、補正で対応した。



答 片岡総務課長

補正について、緊急の場合

高吾北広域町村事務組合報告

平成30年2月27日（第1回定例会）

平成30年第1回定例会が2月27日に開かれ、29年度補正予算、条例の一部改正、30年度会計予算など11件の議案を全会一致で可決、一般質問は1人が登壇。

【組合長報告】

各事業の運営状況

衛生センター、し尿、浄化槽汚泥処理量は昨年同時期に比べ約1.7%、219klの増加。

清掃センターのごみ処理量は、昨年同時期に比べ13tの減少、再資源化率は総量の11・9%。

合は予備費で対応をするが、日程に余裕があるときは、議会に提案する。



高吾苑の利用件数は1月末、595件、管内が380件、管外215件。介護認定審査会は、新規、変更、区分変更申請など2千93件。

消防署の出動状況は、救急1千549件、火災出動12件、捜索出動3件となっている。

養護老人ホーム、特別養護老人ホームなどの介護職員の確保が課題であり、処遇の改善を図り人員



大規模改修される清掃センター

確保に努める。

【一般質問】

問 竹本文直議員

（仁淀川町）

事務組合の職種別職員数、各町在住者の職員数、介護職員の定員割れはないか。

答 担当課長

一般事務48人、消防51人、介護115人、看護11人、非常勤55人、正規職員のうち佐川町96人、越知町69人、仁淀川町40人、他町村20人と

なっている。介護保険法の人員基準は確保している。

問 竹本議員

事務組合は高吾北地域住民の生活を支える仕事をしている。災害が発生した場合、そ

の地域に元気な住人が生活していることが大きな防災力になると考える。職員の採用にはそのような配慮が必要であり、留意を求める。

答 担当課長

そのような配慮は必要。

■平成29年度補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		0	8億8,896万円
特別会計	特別養護老人ホーム	△147万円	13億1,679万円
	養護老人ホーム	△29万円	1億3,361万円
	障害者支援施設	0	2億9,065万円

■平成30年度予算

会計名		補正額	総額
一般会計		—	20億1,468万円
特別会計	特別養護老人ホーム	—	12億1,168万円
	養護老人ホーム	—	1億1,257万円
	障害者支援施設	—	1億7,355万円

議案の審議

そこが聞きたい

—第2回（3月）定例会—



○条例の改正

■仁淀川町つり銭基金条例について

問 片岡(智)議員
内容の説明を。

答 片岡総務課長

現在は、予算でつり銭を定め、また、予算に戻すという措置を行っているが、基金として積み立て、運用、管理する。

■仁淀川町社会福祉法人の助成に関する条例について

問 竹本議員
町内にある、社会法人数は、どのような事業を想定しているのか。



答 大野保健福祉課長

現在、社会福祉協議会1団体。

仁淀川町の社会福祉事業団体等運営補助金交付要綱を定めており、それに基づき支出している。
明確に補助金を支出するため条例化をした。

■仁淀川町放課後子ども教室設置条例について

問 竹本議員

今まで社協に委託をしていたが、撤退した理由は、現場職員が心配している。説明をしたのか。
責任体制を整えるように。



答 竹本教育長

社協の業務が多くなり、複雑化してきたことや、人員不足のため受託が厳しく、教育委員会直営となった。



答 津野教育次長

現場説明は、別府小学校には、教育長と担当が、その他の学校には、自らと担当が説明に行っている。
議会の議決を経てないため、具体的な話はしてない。
今までどおりで願うと話をし、現場の声を反映できるように、職員を配置する予定。



放課後子ども教室に使用されている、池川小学校体育館・アリーナ



問 片岡(智)議員
「入会希望者が5人に満たない教室は、休会することができる」という規定だが、保護者に対しても、職員の立場も不安定な状態が続くことになる。
若者定住の対応をしている中、一人になっても教室を開くべきでは。

答 竹本教育長

行政の立場から、費用対効果を考え規定、保護者には説明をし、了解をいただいている。

今まで事例はないが、ほかの教室を利用することも可能。

個々の事例には相談を受け、なるべく負担の少ない方法を考えていく。

問 西森(常)議員

29年度の利用者は、

支援員の賃金は1カ月いくらくらいになるのか。

講師を雇い、勉強させる体制を整えないか。

答 津野教育次長

30年度の申込者は、池川

小22人、別府小16人、長者小9人。

賃金は、多い方で月8万円ほど。

答 竹本教育長

学習支援ができる方がおらず、人材などの面ですぐに体制を整えることはできない。

問 大野議員

町は、医療費を無料化するなど、子育て支援に力を入れている。子ども教室は人数が少なくなってもやるべきでは。

各子ども教室の場所は、

長者小学校は、長者出張所の2階で開いているが、学校内でできないか。

答 津野教育次長

池川小は、体育館の1階

アリーナ。別府小は、小学校1階の空き教室。

答 竹本教育長

子ども教室は、学校と切り分けてスペースを構えないといけないため、長者小と協議する。

子どもが少なくなったときは、個々の事案に対応する。

問 左京議員

子育てに力を入れるのであれば、利用者が一人になっても教室を開いては、

教育委員会の直営となり、経費はどのように変わるのか。

答 竹本教育長

国、県の補助金のルールがあり、費用対効果の面もあるため、条例は変えない。個々の事案は検討し、対応していく。

答 津野教育次長

支援員の報酬の見直しを行い、社協へ委託していた時よりも、45万9千円増額となっている。

■仁淀川町委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

問 片岡(智)議員

農地利用最適化推進委員の役割は。



答 片岡産業建設課長

農地の有効利用、集約を進め、耕作放棄地の防止など、地域を見守っていただいている。

問 西森(常)議員

財源は、全額国費で間違いないか。

答 片岡産業建設課長

間違いない。

■仁淀川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

問 竹本議員

低所得者の負担が一番増えるが何とかならないか。



答 下久保税務課長

より多くの納税者の公平性が保てると判断している。

■仁淀川町奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例について

問 片岡(智)議員

「品行方正」である者と

は、何を基準にしているのか。

保護者に説明をしたのか。

答 竹本教育長

明確な基準はない、粗暴な言動や刑法にかかることがない限りは品行方正といえると思っている。保護者に説明会は開いていない。

問 竹本議員

国の施策として行われている大学の無償化は、各種学校といわれる専門学校についての支援はなかったと記憶しているが。

答 竹本教育長

学生支援機構の奨学金制度の要件は緩和されると聞いており、専修学校での奨学金もあるようなので、紹介していく。

○補正予算

■平成29年度仁淀川町一般会計補正予算(第7号)について

問 大野議員

林道費と工事費の減額の理由は、耐震診断委託料は、何件申請があったのか。作成委託料の内容を。

答 古味池川地域振興課長
林道大峠北浦線の開設事

答 片岡総務課長

平成29年度の耐震診断委託は10件。

避難所の運営マニュアルの作成委託料が、入札で減額となっている。
工事請負費は、個別受信機設置工事や、防犯カメラの個数の減があり、全体で100万円の減となっている。

○当初予算

■平成30年度仁淀川町一般会計予算について

問 野村議員

町道小郷線法面改良工事箇所は、寄合地区舗装工事が着工されていない理由は、距離が短縮されてないか。
池川橋から旧道へ入ると、石垣が崩れている。確認を。

答 古味池川地域振興課長

法面改良工事は、池川茶業組合茶工場の上部三差路から1kmソボイへ進んだ箇所。

舗装工事は、雪の影響のため着工に至っていないが、年度内竣工は行う。延長は、増となっている。
現場精査をして対応する。

問 大野議員

町全体の借地料合計1千600万円について検討しているのか。
消防費の備品購入費1千

55万円の内訳は。

防災倉庫の点検は、高齢者が多い集落では厳しいと思うが対応は。

敬老会補助金の交付条件は。

先日、大雪で学校給食が止まったと聞くが、早目の対応はとれなかったのか。

答 片岡総務課長

借地料について、施設の廃止も考慮し、検討している。

消防の備品は、小型

ポンプ2台、軽四の積載車1台、全分団にチェーンソーを構える予定。

防災倉庫の点検は、消防団と連携をしている。

答 大野保健福祉課長

敬老活動補助金は、敬老会だけでなく、1年のうちに1回、敬老者を敬う集まりに、地域の代表者から申請をいただき決定している。

答 津野教育次長

給食の食材は、毎朝高知市から配達されており、食品業者の車が積雪対応でなかったため届かなかった。業者に指導をしていく。

問 西森(久)議員

国道が通行止めになった際、地元のスーパーで食材を購入し、給食センターで料理するようにならないか。
先日の大雪の際、各学校の対応は確認したのか。



各地に設置されている防災倉庫



給食センター (原石山)

答 津野教育次長

地元スーパードとも協議したが、量的に対応できないと回答をいただいております、レトルトの非常食を提供したと聞いている。

問 西森(久)議員

長者小はカレー、仁淀中は豚汁を学校で作っている。池川中は、チョコレートを配ったと聞いた。生徒の食欲を満たすために、教育委員会はもっと考えるべきでは。

答 竹本教育長

校長会で検討していく。

問 西森(常)議員

レトルトの非常食を生徒たちは食べたのか。

答 竹本教育長

食べたと聞いている。

問 片岡(智)議員

補助金が、年度によって増減しているのはなぜか。職員のストレスチェック制度の中身は。

公衆用道路測量委託料の内容は。



答 片岡副町長

県補助金は、事業の状況により大きく変化する。

答 片岡総務課長

ストレスチェックは、個人が現在の状態をチェックし、高ストレスと評価された場合は、自分の意思で産業医や保健師に話をするというシステム。



答 片岡仁淀総合支所長

公衆用道路測量委託料は、国土調査が終了後、新たに道路が開設された箇所の分筆登記をするための委託料。

問 岡田議員

当初予算とみると、委託

料、指定管理料が多い。契約どおり履行されているかの確認は。毎年、同じ金額が計上されているが。

答 片岡総務課長

委託料は、必ず完成の検査をしている。

指定管理料は、各担当部署で確認をして指定管理料を支払っている。

内容については、気を引き締めて確認をしていく。

問 竹本議員

ストレスチェックについて、個人任せのように聞こえる。産業医などから報告はあるのか。

旧名野川小学校のシエアオフィス改修工事費、入居予定はあるのか。

鳥獣対策費、くくり罠の実績と効果は。狩猟期間中、補助金はあるのか。

林業研修生は、何人本町に残っているか。子育て対策を含め積極的な支援を。

宝来荘の修繕のタンクボールタップとは。委託料60万円は少なくないか。水道管が凍結し臨時休館して

いる。職員が辞めたという話も聞く。管理体制を整えるよう指導しているか。池川教員住宅改修工事費、どこをどのように工事するのか。利便性が良い所に建て直しては。

* シエアオフィス
複数の利用者によって共有する事務所。

答 片岡総務課長

個人の許可があれば産業医、保健師から上司に報告することができるシステムになっている。

個々のパソコンの稼働状況が確認できるので、職員の健康管理に生かす。

答 古味企画課長

シエアオフィスに入居したいという話もあるが、公募の上で決定していく。



シーズンには多くの行楽客で賑わう、安居溪谷宝来荘

答 片岡産業建設課長
1月末までの実績は、箱罾、くくり罾合計で、イノシシが157頭、シカが7頭。狩猟期間中は、補助金はない。写真を撮り、確認をしている。

林業研修生は、平成28年度は5人中4人が町内に残り、平成29年度は6人中5人が残る予定。
子どもがいる家庭には、学校の近くの住宅をあつせんするなどしている。



旧名野川小学校

答 古味池川地域振興課長
耐水圧用ボールタップとその他、部材を含め39万円。宝来荘の指定管理料は低額でも、自主採算でやっていけると聞いている。

退職された職員から十分な引き継ぎをお願いし、現在に至っている。今後、現場と話し合いながら、満足していただけるサービス提供を目指していく。

答 津野教育次長

台所の床の張り替え、和室、洗面所、台所のクロス張り替え、トイレの洋式化、畳や襖の張り替えなど。

答 竹本教育長

教員住宅は、林業研修生に貸与するための改修で、建て替えは厳しい。

問 左京議員

各地域の集会所の使用料、借地料は統一されているのか。町有地として買い上げできないのか。集会所に管理料を払っている所もあるがなぜか。秋葉の宿の指定管理料1千200万円の内訳は。

ゆの森の改修費4千500万円の内訳は。
ゆの森、秋葉の宿、宝来荘など、年中無休にしては。橋梁点検をした結果揭示の検討を。

答 古味企画課長

公の目的で使用の場合は集会所の使用料はいただいていない。

土地を買い上げることは難しい。

答 片岡総務課長

集会所の管理は合併以前の町村の考え方で管理しており、統一できていない。できるだけ早く統一していく。

答 大野仁淀地域振興課長

指定管理料の内訳は電気代が180万円、浄化槽の点検などで100万円、大渡ダム公園の草刈り料300万円などが含まれている。

答 片岡産業建設課長

ゆの森の改修は、浴室の改修が中心、木造は腐るので、御影石で考えている。労働基準局の指導もある。

り、年中無休は難しい。規制の必要な橋について、看板を設置している。

問 藤崎議員
基金の繰入金、公債費の見通しは。
答 片岡総務課長
庁舎の建設があり、一時、



改修の計画がある「ゆの森」全景

公債費が上がってくると思われるため、減債基金に予算を積み、起債を借り入れる際、繰り上げ償還がある旨を銀行に説明している。
国が、基金をみて普通交付税の算定を決めるという話があり、基金の増もできない。

■平成30年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計予算について

問 大野議員

加入率はどうようになっていくか。



答 坪内町民課長

加入率の計算は複雑で即答できない。加入戸数は、森地区264戸、田村地区53戸、久喜地区20戸となっている。

議案の審議結果

平成30年第2回仁淀川町議会3月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
議案第4号	仁淀川町つり銭資金基金条例について ※公金収納における効率化のため制定するもの	原案可決	全員賛成
議案第5号	仁淀川町社会福祉法人の助成に関する条例について ※町と社会福祉法人との連携を強化するため、制定するもの		
議案第6号	仁淀川町放課後子ども教室設置条例について ※放課後子ども教室の運営が直営となったことに伴い制定するもの		
議案第7号	仁淀川町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例について ※介護保健法の改正に伴い制定するもの		
議案第8号	仁淀川町子育て応援手当支給条例の一部を改正する条例について ※高校生に対する助成制度を総合的に見直したことにより、条例の一部を改正するもの		
議案第9号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について ※育児休業等の再度取得を認める特別の事情に、保育所等を利用できない旨を明記するため、条例の一部を改正するもの		
議案第10号	仁淀川町委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について ※農業委員会活動の積極的な推進を図るため、条例の一部を改正するもの		
議案第11号	仁淀川町特別会計設置条例の一部を改正する条例について ※観光センター等の施設管理を指定管理者が行うことにより、条例の一部を改正するもの		
議案第12号	高知県収入証紙購入基金条例の一部を改正する条例について ※高知県収入証紙購入事務の効率化のため、条例の一部を改正するもの		
議案第13号	仁淀川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について ※国民健康保険における財政責任者が都道府県になることに伴い、条例の一部を改正するもの		反対：竹本議員
議案第14号	仁淀川町町税等の滞納者に対する行政サービス等の制限措置に関する条例の一部を改正する条例について ※保育料の無償化により、滞納状況の調査対象から除外するため、条例の一部を改正するもの	原案可決	全員賛成
議案第15号	仁淀川町奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例について ※修学意欲のある者に対し、本町独自の高校生等の支援を手厚くするため条例の一部を改正するもの		
議案第16号	仁淀川町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について ※保護者の経済的負担を軽減するため、医療費の一部助成を18歳に達する日以降における最初の3月末日までの者で、かつ高校等に在籍している者に要件を拡大するため、条例の一部を改正するもの		
議案第17号	仁淀川町長寿祝金等支給条例の一部を改正する条例について ※町税等の滞納者に対する行政サービス等の制限事項を削るため、条例の一部を改正するもの		
議案第18号	仁淀川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について ※国民健康保険の運営に関する協議会について、国民健康保険法の規定の下、条例の一部を改正するもの		
議案第19号	仁淀川町介護保険条例の一部を改正する条例について ※平成30年度から3年間の第7期仁淀川町介護保険事業計画において、介護保険料の改正が生じたため、条例の一部を改正するもの		反対：竹本議員
議案第20号	仁淀川町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について ※被保険者の住所地特例の規定の見直しに伴い、条例の一部を改正するもの		全員賛成

議案番号	件 名	議決結果	賛否
議案第21号	仁淀川町観光センター等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ※仁淀川町観光センター等の管理運営を指定管理者に行わせるため、条例の一部を改正するもの	原案可決	全員賛成
議案第22号	仁淀川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について ※消防団員の出勤手当を、高吾北広域町村事務組合消防本部管内他町消防団と統一するため、条例の一部を改正するもの		
議案第23号	仁淀川町デイサービスセンター「とちの木園」の指定管理者の指定について ・指定管理者 社会福祉法人 仁淀川町社会福祉協議会 ・指定の期間 平成30年4月1日～平成33年3月31日		
議案第24号	仁淀川町デイサービスセンター「せいらん荘」の指定管理者の指定について ・指定管理者 社会福祉法人 仁淀川町社会福祉協議会 ・指定の期間 平成30年4月1日～平成33年3月31日		
議案第25号	仁淀川町デイサービスセンター「池川」の指定管理者の指定について ・指定管理者 社会福祉法人 仁淀川町社会福祉協議会 ・指定の期間 平成30年4月1日～平成33年3月31日		
議案第26号	平成29年度仁淀川町一般会計補正予算（第7号）について ※庁舎新築工事の確定による、本庁舎2,500万円、仁淀総合支所1,550万円など3億1,509万2,000円の減額補正で、補正後の合計は、90億4,140万8,000円		原案可決
議案第27号	平成29年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について ※制度改正に伴う、システム改修事業の補助金466万9,000円など、3,906万4,000円の減額補正で、補正後の合計は、9億8,193万5,000円		
議案第28号	平成29年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定補正予算（第2号）について ※特別調整交付金へき地診療所運営補助分として国保会計から事業勘定繰入金1,551万4,000円など、628万2,000円の減額補正で、補正後の合計は、1億9,278万円		
議案第29号	平成29年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算（第2号）について ※居宅介護が減少、施設介護が増加傾向にあるなど保険給付費等の調整など、333万4,000円の減額補正で、合計12億4,235万1,000円		
議案第30号	平成29年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について ※保険料収入見込み増など、169万3,000円の減額補正で、合計1億2,916万4,000円		
議案第31号	平成29年度仁淀川町観光センター等管理運営事業特別会計補正予算（第1号）について ※営業中止に伴う、使用料1,617万円の減額など、1,624万円の減額補正で、合計1,408万5,000円		
議案第32号	平成30年度仁淀川町一般会計予算について		
議案第33号	平成30年度仁淀川町国民健康保険特別会計予算について		反対：竹本議員
議案第34号	平成30年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定予算について		全員賛成
議案第35号	平成30年度仁淀川町介護保険特別会計予算について		反対：竹本議員
議案第36号	平成30年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計予算について	原案同意	全員賛成
議案第37号	平成30年度仁淀川町簡易水道事業特別会計予算について		
議案第38号	平成30年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計予算について		
議案第39号	平成30年度仁淀川町会計事務集中管理特別会計予算について		
同意第2号	教育委員会委員の任命について		
発議第1号	仁淀川町議会基本条例検討特別委員会設置に関する決議	原案可決	

一般質問（8人が登壇・3月定例会）

新診療所には
病床が必要

答

新診療所には十分機能を
果たす体制を整備する(町長)

問 片岡智準議員

大崎診療所の建て替えについて、立地場所は利便性を重視すべきで、設計には「病床と厨房設備の確保」が不可欠だと考える。近未来に予測されている大地震の被災規模によっては、町も孤立し、多くの負傷者が出た場合、今までの被災地では公の施設の通路や板の間に収容されている状況である。病床設備を持たない診療

所建設は行政として無責任と言わざるを得ない。医師不足で入院ができなくても、災害が発生すれば医師団の派遣が見込まれ、廊下での治療は回避できる、町長の見解を聞く。

答 大石町長

災害が発生した場合、本町では大崎診療所、西村医院、安部病院に医療救護所を開設、資機材や医薬品を管理している。救護所ではトリアージを行い、負傷程度に応じて救急搬送を行い、命をつなぐ。

災害時には県全体で拠点病院を中心に医療体制をとる。本町でもそれに合わせた訓練を実施している。

病床設備を持たない診療所建設は無責任とのことだが、新診療所には十分機能を果たす体制を基本設計の中での意見も取り入れ整備を進めたい。

問 片岡(智)議員

基本的には診療所でトリアージを行い、対応すると

のことだが、現実問題として、地震が起きた場合、道路が寸断され、車は通行できない。復旧に時間を要しトリアージのレベルではない。滅菌できる病床設備を作っておけば、具体的な手術も可能。病床設備には当然厨房も必要で、日常はリハビリ室として使用すればよく、まずスペースの確保が大切だ。

答 大石町長

想定を超える災害が発生した場合、本町は山間地域で道路の寸断、孤立化が危惧される。ヘリポート整備、防災行政無線による相互連絡方式を活用し、また消防との連携を行う。

良い方法があれば別だが、自前で災害時の病床対応までは、設備維持の点からも考えてない。

今後は、設計段階から検討委員会、議会の意見を聞き進めたい。

問 片岡(智)議員

治療室は、クーラー、ベッドがあれば良く、完備された設備は必要ない。

手術も、骨折や裂傷程度であれば局部麻酔で可能。またベッドも壁掛け兼用でよく、維持管理費もかからない、再考を。

答 大石町長

確かに多目的な部屋は必要と考えている。今後の基本設計の中で検討したい。

中断農道の整備計画は

問 片岡(智)議員

寺村線の中村寄り、中村集落に延びる農道中村線が放置されている。中断の理由は何か。

再計画がなければ、中村集落より中断地点に至る、約200mの区間が未舗装で非常に悪い。

住民が朝夕の通勤時、頻りに利用し、早期舗装を望む声強い。

同道路はう回路としての役割を持ち、早急に対処すべき道路、町長の見解を聞く。

答 大石町長

農道中村線は農道整備事

業として計画されていたが、国の政策で打ち切られた。その後も要望したが採択されてない。未舗装区間は前向きに検討する。

問 片岡(智)議員

町長から未舗装場所は前向きに検討するとの答弁を聞き、期待したい。

答 大石町長

未舗装箇所は非常に路面が悪い所で、町単独でも舗装したいと考えている。

トリアージ
*「選別」「優先割当」の意 大災害によつて多数の負傷者が発生した際に、現場で傷の程度を判断し、治療や搬送の優先順位を決めること



中村地区の未舗装町道



新庁舎維持管理費・ 施工管理について

省エネに取り組む(総務課長)
調査し適切に対処する(町長)

答

問

竹本文直議員

新庁舎の水道光熱費の予測は、また、施工管理はど
こが行ったのか。3階議会
事務室、控え室など、傾き
が確認できる。点検し、改
修を求める。

答

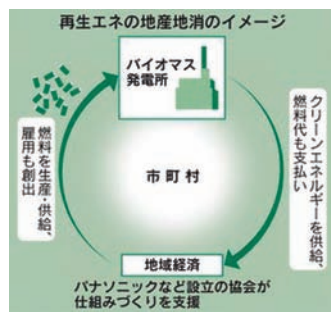
片岡総務課長

1月分の水道料6千500
円、ガス1万9千990円、電
気93万7千73円、予測は電
気料金75万円、年900万円
の予算を組んでいる。省
今後は経費を注視し、省
エネに取り組んでいく。

答

大石町長

久米設計・ASA設計特



日本経済新聞より

森林資源活用したバイ オマス発電について

監理業者に早期に原因の
究明を求め、整理でき次第
対応する。

答

大石町長

問

竹本議員

瑕疵担保(賠償責任)に
よる改修はいつまでにす
るのか。

定設計共同企業体が施工管
理を行い、施工業者、監理
業者及び総務課で検査し引
き渡しを受けた。
備品の搬入後、建物との
間に隙間が生じ、当町で詳
細に床面の高さを計測した
ところ局部的に差が大きい
所があり、施工監理業者と
協議を行っている。問題が
あれば改修を行う。

答

大石町長

電が導入できないか。

問

竹本議員

平成30年2月、パナソ
ニック、三井物産など7社
が日本サステイナブルコ
ミュニティ協会を設立、再
生可能エネルギーの開発に
意欲的な市町村を募り、そ
の地域の間伐材を燃料に使
えるか、燃料製造での雇用
発生など調査し、自治体と
バイオマスや太陽光の小型
発電所建設、運営を支援す
る団体ができた。この団体
に応募し研究をしてみても

2カ所の発電所で年間17
万トンの未利用材が必要、不
足している。町内だけでな
く県全体の取り組みが必要
であり、町単独では考えて
いない。

高知県内では高知市の土
佐グリーンパワー株式会社
と宿毛市のグリーンエネル
ギー研究所の二つ大きなバ
イオマス発電所でC材など
の未利用材が利用されてい
る。

平成17年、独立行政法人
新エネルギー・産業技術総
合開発機構、NEDOによ
る、バイオマスエネルギー
地域システム化実験委託事
業で平成22年3月まで5年
間、ガス化発電システムの
研究をした。採算面で厳し
く事業化には至っていない。

答

大石町長

どうか。

送電網などの課題があ
る、勉強はする。

問

竹本議員

バイオマス発電でエネル
ギー自給率100%を目指して
は。

答

大石町長

いろいろな課題がある、
すべてがクリアでき、実現
可能ならば前向きに取り組
む。

国保制度の変更について

問

竹本議員

平成30年度の標準保険税
率が示された。
本町の今後の見通しを聞
く。

答

大石町長

平成30年度、国民健康保
険事業費納付金は国費投入
による激変緩和措置などに
より、想定以下の金額が示
された。標準保険税率は資
産割を除く3方式での賦課
に変更され、賦課割合の変
更がある。当面は、激変緩和
用特例基金による緩和措置
により納付金額の大幅な上
昇はないが医療費の急激な
増加があれば納付金、標準
保険税率の上昇につながる。

問

竹本議員

資産割がなくなり、均等
割、平等割の割合が上がり、
住民税非課税の低所得者、
特に7割軽減適用者の納付
額が上がる。所得割の割合
を上げてはどうか。

答

下久保税務課長

全体の税率は、1世帯あ
たり単純計算で4000円
ほど下がる、しかし、資産
割を廃止し、所得割の見直
しをした結果、均等割、平
等割が上がり、低所得者、
資産のない方の保険料が上
がる。

特に、7割軽減適用者の
保険料上昇を抑えるため特
例措置を検討したが、法の
制約の中で見送った。

問

竹本議員

これ以上、保険料の上昇
は低所得者にとって生活に
直結する。

今後の軽減策、一般財源
からの法定外繰り入れなど
も含め検討を。

答

大石町長

被保険者が減少、低所得
者の増加、高齢化などによ
り医療費が左右される。低
所得者への負担が低くなる
ような配慮はしていく。



施設管理状況を聞く

答 利用されていない施設については、統合、撤去の必要性がある(町長)

問 大野 弘議員

現在利用されていない公共施設の現状と今後の管理は。

答 大石町長

平成27年、28年度に調査検討を行い、町公共施設等総合管理計画を策定、各施設ごとに分類し、総合的、計画的な管理に関する基本計画を平成32年度までに作成する。
廃校、福祉施設や空き広場は、新たな取り組み、地

域スポーツクラブ団体の利用、倉庫として活用。全く利用していない施設もあり、個々の施設については、統合、撤去の必要がある。

問 大野議員

利用されていない、明神ランド、吾川スカイパーク、西谷口の倉庫など、老朽化が進んでいる。近い将来起こるとされる南海トラフ大地震で崩壊する恐れもあるが対策は。

教員住宅で利用できない所は、若者定住の宅地に造成し提供してはどうか。

また、光回線を利用した企業誘致策について聞く。

答 津野教育次長

廃校、旧幼稚園、中学校、給食センターの敷地運動場などがあるが利用されている。

旧名野川小学校は今年度の予算でシェアオフィスの改修し企業誘致を進める。教員住宅は、今年度3戸改修し移住者対策に取り組む。その他の住宅は、今後慎重に検討する。

答 大野保健福祉課長

明神ランドは、平成25年2月ごろまで利用。その後は、雨漏りがひどく利用していない。

地域からは存続の声もあるが、修繕など多額の経費が必要であり、今後地区の意見を集約し方向性を検討していく。

答 片岡仁淀総合支所長

川渡の内職センターは、平成29年9月から利用されていない。現在利用者を募集中。

西谷口の内職センターは、倉庫として利用しているが、老朽化が激しく、現在、対応を検討中。

学校給食調理場は、イベント用機材などの保管場所として使用中。

答 片岡産業建設課長

吾川スカイパークは、現在委託契約し施設管理をしている。

老朽化したログハウスは、取り壊す予定。



西谷口の内職センター

問 大野議員

明神ランドは、存続の声があるとのことだが、頑丈な建物で、いざという場合には、避難場所として利用できる。

旧学校施設内には多くの教育備品(図書など)がある。当初予算にも図書の購入を計上しているが、適切な管理を。

今後、施設管理については、活用方法を検討し、危険な建物については、早急な対応を。

答 津野教育次長

使用できる備品は、町内

の小中学校へ優先的に譲り、使用しない備品は、検討し対応していく。

答 大野保健福祉課長

明神ランドは、地区民と意見を交わし、早急な対応をしていく。

備品についても適切な管理をする。

答 片岡総務課長

個々の個別計画について32年をめどに進める。

危険な建物で緊急を要するときは、そのつど、担当部署と協議し早急な対応を行う。



明神ランド



生活道の改修や補修に関する公平・公正について

答 幅員の狭い箇所や未舗装の箇所があり町民には不便をかけている(町長)

問

左京憲昌議員

町道などの生活道に対して執行部が求めている機能は何なのか。

答

大石町長

利用者の通行の安全・安心な道路であることが第一。しかし現状ではまだ幅員の狭い箇所や未舗装の箇所があり町民には不便をかけている。

問

左京議員

生活道で早急に改修を必

要と認識している路線名を聞く。

答

大石町長

平成30年度は町道二ノ滝線・町道坪井川線・町道別枝鳥形山線など町単独事業で改良、舗装工事37路線、国庫補助事業改良8路線を計画している。

問

左京議員

生活道の改修や補修の順位付けはどのようなルールに基づくのか。

答

大石町長

特にルールは定めていない。費用の過大な工事については過疎計画・地域再生計画に掲載し、国・県から補助の得られる箇所を優先、それらに該当しない箇所は町単独事業で生活に密着した箇所や地域からの強い要望のあった箇所を重点に限られた予算の中で整備している。

町民生活・産業振興について

問

左京議員

加枝から柚木谷地区の世帯数・人口・山林面積を尋ねる。

答

大石町長

7地区合計で83世帯149人・1千79ha。

問

左京議員

林業振興が求めているが、大崎橋の総重量10tの制限では原木の搬出にも経費がかかりすぎる。南海トラフ地震が想定されている中、加枝から柚木谷の7地域の方々の住民生活が守れるのか、私は大変不安である。橋梁の新設が必要ではないか。

答

大石町長

仁淀川南岸の林道横倉長者線沿線に、多くの森林資源があり、現在加枝地区で88haの森林経営計画を進めているが、材の搬出に悩んでいる。大崎橋は昭和36年に架設。架設年次が古くつ

り橋で現在10t規制を強いっている。住民生活の安全と産業面での懸念もあり、大崎橋の架け替えが一つの課題であると考えている。

問

左京議員

上久喜花桃の開花時の道路混雑緩和、住民の安全・安心、林業振興の観点から、上久喜から原石山へ通じる道路の新設を。

答

大石町長

橋梁も一気にいかないといいところもあり、道路の新設ということもあるが、国・県の補助事業にあるものに乗って計画的にやっていると。要望も一つの方法だと思っている。今後そのようなことも踏まえ検討する。



大崎橋

診療所の改築について

問

左京議員

国の方針も終末期を施設から自宅にとの方針。国民の意識調査でも六十数%がそのような意思表示。そのような環境や意思を実現するには入院可能な診療所が必要。新診療所は公設民営などいろいろな方法が考えられるが、多角的な検討をしたのか、どのような基本構想なのか。

答

大石町長

大崎診療所建て替え検討委員会でも在宅医療が可能な患者については訪問診療・訪問介護・訪問リハビリ回数も増やす方向性が示されている。実現には医師複数体制が必要不可欠である。

高知県地域医療構想では、病床数抑制の指針を定めており、入院施設設置が認可されなくてはならないが設置基準のハードルも高く、入院施設の新設は制度的・経営的にも困難を要す。



移動投票を 導入しては

選挙管理委員会と
協議中(町長)

問

西森久雄議員

各地区を回った際、「投票所が近くにあれば」「足がない」などの声が聞こえた。

島根県浜田市では自動車を利用した移動期日前投票所を開設している。

投票所まで距離が遠く、交通手段の確保が厳しい有権者が容易に投票できるように考えていくべきではないか。

答

大石町長

島根県浜田市では、車に

よる巡回移動期日前投票所を、全国で初めて実施。本町では29投票所での投票を平成24年度から継続している。

過疎高齢化、職員の減少などを踏まえ、投票所の統廃合や移動期日前投票所などについて、町選挙管理委員会を中心に協議し、慎重に検討する。

イノシシなど駆除 用具の実績と周知

問

西森(久)議員

鳥獣被害防止対策について今年度の実績を。

答

大石町長

イノシシ・シカ用箱罠の

現在の貸し出し状況は、23基中は吾川7基・池川5基・仁淀6基である。くくり罠は240個のうち200個を各区



イノシシ箱罠

長を通じ、地区の有資格者に配布。残り40個を貸し出し用としている。

また、平成29年末にイノシシ・シカ用くくり罠60個、サル用6個を新たに購入した。

問

西森(久)議員

貸し出しは周知しているか。

答

片岡産業建設課長

箱罠の貸し出しについて、広報で周知しないのは、有資格者のみにしか使用できないということ、各協議会の総会で猟友会長にお願いしている。



(1) 石垣トマト、今が収穫期

平成29年の9月15日、石垣トマトのオーナー(9軒)は一斉にトマトの苗を植え、収穫に向けてスタート。ご存じのように、トマト栽培はほとんど「水」をやらず育て、糖度アップを目指す。ただ、トマト独特の味を出すため各人が試行錯誤して有機肥料を調合(配合)し、各人のトマトの味を作っていく。



写真手前マンゴー・右バナナ・正面トマト(2月11日現在)

このように経過を説明すると、トマトって難しい印象持たれるかもしれませんが、全く逆で「自然」でも十分育つ。冬季のトマトは木になっている時期が長く、かつ温暖差(早朝は8〜9度から昼間は50度前後上昇)があり、トマト自体が糖度を上げ冬場を乗り切ろうと努力をする。おかげで「さほど手をかけない人」にもそれなりのトマトが栽培できる。

2月11日、仁淀川町にも積雪があり、外気温度は氷点下4度、しかしハウス内のトマト(写真)は見事成熟し収穫を迎えた。一切の暖房を入れずこの状態は、まさに地熱利用の石垣ハウスの威力か。チャレンジしては！

片岡智準議員投稿



建物に似合う職員像は

答 明るい職場づくりを目指す(町長)

問 西森常晴議員

「役場とは、町民のために役に立つ人のいる所」、約半世紀も前に「すぐやる課」を設置した千葉県松戸市の松本市長の言葉。建物が立派になっても中身が良くなければ遺憾だ。新庁舎落成を機に実践しては。

答 大石町長

業務に集中し、来庁者に気づかないときもある。気づく仕組みなどを考え、職

員の意識を変えていきたい。

「住民満足度アップのための接遇研修」などにも、積極的に多くの職員を受講させ、明るい職場づくりを目指していきたい。

答 竹本教育長

子どもたちの模範になるよう取り組んでいく。

問 西森(常)議員

5、6年前、四万十町の「海洋堂ホビー館」へ行つたとき、出迎えてくれた駐車場の職員の明るい元気があいさつが今でも心に残っている。

隣町の病院も、新築を機に意識改革を行い、看護師、介護士全員から声が出るようになり、見事に変身した。

本町はまだまだだ。



立派な新庁舎

答 大野仁淀地域振興課長

元気な職員を入りに口に近い所に配置するなど工夫が必要と思う。

若者定住のための教育の充実を

問 西森(常)議員

若者定住のためには、子育て、教育課程の充実が不可欠だ。どう取り組んでいるか。

答 竹本教育長

乳幼児及び保護者が交流できる場として開設した子育て支援センターは、今年度1千378人の利用があった。

その他、保育所一時預かり、就学前教育なども支援を行っている。

学校現場では、児童・生徒の学力向上のため授業改善の指導にも力を入れている。

高校生には、奨学金の貸付限度額の引き上げ、Uターンする若者には、返済免除などの支援を講じる。

問 西森(常)議員

平成28年度の池川小学校卒業生のうち3人は町外へ進学した。町内に、公立の学習塾をつくらないか。

答 竹本教育長

基礎学力の上に、さらに上の学力をつけることも大事なことは思っている。



庁舎内事務室

問 西森(常)議員

子育て世代の先生が異動願を出してまで、わが子が中学を出るまでは本町で子育てをしたいと思う、そんな教育環境をつくるべきでは。

答 竹本教育長

議員の意見も参考にしながら検討していきたい。



診療所建て替え

答 入院施設に代わる施設の要望があり今後検討する(保健福祉課長)

問

岡田良成議員

診療所に入院施設がなく、町民は不便を感じている。入院施設を建築すべきでないか。

答

大野保健福祉課長

国は在宅医療の充実に向かっていくこと。

入院施設の新設は制度的、経営的に困難を要すると思われる、検討委員会でも入院施設の機能を持った、入院施設に代わる施設の要望があり今後検討する。

問

岡田議員

入院施設に代わる施設の要望があることで、今後なお一層、努力するように。

答

大野保健福祉課長

助言をいただきながら進めていく。

高齢者住宅建設

問

岡田議員

高齢者、一人暮らしの方々が、将来に不安を抱えて生活しているが、安心して暮らすために高齢者住宅建設(サービス付住宅、シニアマンション)、国の指針でも集合的な介護、在宅、医療、コミュニティ場所、診療所のある、高齢者に対し夢がある高齢者住宅はできないか。

答

大野保健福祉課長

本町は75歳以上、1千935人、3割を超えている。安心して在宅で生活ができるのが必要だと考えており、社会情勢などに注視し検討

する。

大崎、川口住宅耐震都市圏構想

問

岡田議員

診療所、高齢者、一般住宅、総合的に質問する。大崎、川口住宅耐震について問う。

答

坪内町民課長

大崎住宅37年、川口住宅40年経っている。耐震診断を受ける必要がある。

問

岡田議員

いずれ立て替えの時期が来る。診療所、高齢者住宅、あったかふれあいセンター、一般住宅、集合施設

ができれば夢があり、楽しい、安心して暮らせる社会になり、川口住宅の残土地は若者に無償で提供する。10年先の構想の町づくり



大崎診療所

プロジェクトチームの考え方はないか。

答

大石町長

診療所、高齢者住宅、住宅問題、貴重な意見だと思う。10年先こういったものをしっかりと見据えながら住民から信頼される町づくりを進める。先ほどの意見はこれからの行政に生かしたい。



川口町営住宅



大崎町営住宅



2月12日の大雪に対し 特別な体制をとったか

答 大雪警報発令により、
配備態勢をとり、対応した(町長)

問

藤崎源彦議員

この冬は積雪量が多く、特に2月12日は生活に影響が出る大雪となった。

当日は祝日の振替休日だったが、特別な体制をとったか。

また、地域の情報収集や、情報提供は適切であったか。そして、防災行政無線は活用したか。

答

大石町長

この冬はたびたびの寒波到来で、積雪や凍結により

生活に支障を来することが多かった。

質問の日は、前日から降り続き、当日の朝、大雪警報が発令されて、本庁、支所とも配備態勢をとった。そして、配備職員での巡回を行い状況把握に努めた。町民からは、凍結防止剤の問い合わせが多くあり、対応した。

また当日、防災行政無線での大雪に関する放送は行っていない。

問

藤崎議員

除雪を行った建設業者に対し、作業前の指示、作業終了の確認はしたか。また、職員による作業確認の巡回は行ったか。



2月12日の大雪(竹ノ谷)

答

大石町長

建設事業者には、事前に除雪区域の割り当てを行っており、国道、県道の除雪が終わり次第、町管理道の除雪を実施することになっている。

当日の作業終了確認はしていない。また、職員による巡回は3地区ほど実施し、国道沿いの巡回を行った。

問

藤崎議員

建設事業者への除雪費用の算出は、積雪量などの条件によって、作業効率が違う。実態に合う、実費精算が良いのでは。

答

大石町長

除雪費用の支払いは、緊急業務発注依頼書により業者に委託し、作業時間による作業内訳書を作成したのち、除雪前後、作業中の写真を確認し、時間当たり8千円を支払っている。

問

藤崎議員

山間奥地など、積雪量が多い地区や、住民から要求があった地区への対応は。

また、町道から枝分かれした私道など、現地で除雪中に要請があった場合の対応は。

答

大石町長

当日、数地区から除雪の要請があり、国道、県道の除雪が終わり次第実施すると伝えた。

今後は、地域の不安を解消し、迅速に対応できるように、事前準備など、対策を充実させる。

答

片岡産業建設課長

山間部の枝分かれした道路は、まず集落の一番奥まで行い、その後行っている。



(2) 茶農家の店 あすなろ

沢渡の茶農家がお茶の消費拡大を目指し、茶葉をふんだんに使った食事やスイーツの店として「茶農家の店 あすなろ」は開店しました。

あすなろの名の由来は昭和30年代、冬の農閑期に沢渡の谷を開墾し多くの茶畑を開いたという「あすなろ会」。祖父も、このメンバーでした。

それから50年が経ちお茶を取り巻く環境の厳しさの中、

立ち上げた「茶農家の店 あすなろ」が私たちの子どもや孫のためにお茶や秋葉まつりなどの地域文化をつないでいくきっかけになればと考えております。

と経営者の岸本さんは話され、このような取り組みがお茶の消費拡大、町の発展につながるかと考えます。

竹本文直議員投稿



茶農家の店 あすなろ



平成30年3月定例会 町長行政報告

子育て支援を強化 保育料すべて無料

【平成30年度予算案】

総額は64億3千264万7千円、平成29年度当初予算総額に対し、22億6千646万2千円、率で26%の減少。

役場本庁及び仁淀総合支所の庁舎新築事業の完了、フードプラン新工場整備の完了、光通信回線整備の減少などが要因。

歳入は、自主財源不足を補うため、財政調整基金を1億8千万円余り取り崩し、地方交付税は昨年より1億円少ない33億円、歳入全体に占める割合は、昨年の39%から51%へ、自主財源が乏しく、新年度予算は

選択と集中を進めた。

①保育料の無償化

②高校生などの医療費無償化

③奨学金制度の再編

④町内から高等学校などへ通う生徒の通学支援制度の改正

⑤奨学金返還支援補助金の新設

これらを一体的に取り組み、子育て世代の経済的負担を軽減、定住を促進し、町の将来を担う人材の育成を図る。

すべての子どもの保育料を無料、医療費の無償化の適用範囲を18歳、高校生まで拡大。

仁淀川町奨学金貸付金制度は、高校生への貸付に特化し、貸付限度額を大幅増額、併せて、高等学校等通学支援制度は、申請や支給を年度当初に行う奨学金と同時に払い、給付金を早期に支給。

仁淀川町奨学金の貸付を受けた方が、学業修了後町内に住み本町の納税者となったとき、仁淀川町奨学金貸付金、該当期間中の償還を助成する制度を設け、若者の定住を促進する。その他新年度予算は、旧仁淀総合支所解体事業・清掃センター大規模改修工事の高吾北清掃センター特別

負担金・中津溪谷「ゆの森」第2期改修工事・道路基盤整備事業・避難所の資機材などの環境整備事業・防災行政無線中継局再整備事業などを計画。

【あったかふれあいセンター】

高知県では地域の支え合いを進めていくため平成21年から、「あったかふれあいセンター」を整備、県内で29市町村43カ所が整備された。

本町でも現在の福祉サービスに加え、地域の方々が主体で、地域住民誰もが自由に交流できる場所として、既存の施設や機能を活用しながら地域の実情にあった支え合いの拠点として「あったかふれあいセンター」を開設し、地域のニーズや課題に対応した活動を実施し、各関係機関と連携した活動をしたい。

【第7期介護保険事業計画】

介護保険法の規定に基づき3年ごとに事業計画の見直し作業を行い、国の基本指針に即し、平成30年度から平成32年度までの3カ年に必要な介護給付費などを推計し、見直し作業を行ってきた。

制度に基づく計画策定委員会を平成30年1月以降3回開催し、課題など協議。

今後の3年間では、介護サービスが必要となる要介護・要支援認定者とその認定者が利用するサービス量は横ばいと見込まれる。

本町の65歳以上の高齢者数は減少するとの予測で、高齢者一人あたりの負担額は若干増える見込み。

平成27～29年度までの3カ年の第6期計画で、保険料の基準額を初めて増額し、5千900円程度必要と推計されたが、財政安定化基金の取り崩しなどで5千500円に抑えてきた。

今回の推計で保険料の基準額は6千444円と算定、前回と同様に増額せざるを得ず、第6期計画の基準額から480円増の5千980円を第7期計画の基準額として設定する。

保険料の低所得者に対する軽減策は、平成27年度から別枠公費による軽減強化が実施された。平成30年以降も引き続き実施する見込み。

低所得者層の基準額増額による影響は最小限に抑える。

【国民健康保険制度改革】

平成30年度から運用開始

される制度での、国保事業費納付金の納付金額及び標準保険税率が示され、本町の納付金額は、国費投入による激変緩和措置などでは想定どおり。

標準保険税率を用いて試算、資産割を除いた3方式により賦課することで賦課割合に変更はあるが、軽減後の賦課総額は現行の保険税率によって計算した場合の9千228万円より約400万円低い8千826万円。

被保険者数が年々減少しており、医療費の増加が一人当たりの保険税額に大きく影響するので、今後とも保健事業活動などを通じ医療費適正化に取り組む。

【防災行政無線】

機器などが耐用年数を迎え、機能強化を含む親局設備の更新を新庁舎建設に合わせ実施した。

中継局の老朽化などで通信障害がたびたび発生、緊急時の対応が懸念される。

当初予算で障害発生が多い、黒森と松尾の中継局設備などの整備費用4千106万円を計上。

今後は、再送信子局の3カ所や、屋外拡声子局133カ所も再整備が必要、修繕で対応しながら計画的に整備する。



平成30年3月定例会 教育長行政報告 放課後子ども教室を直営に 高校生通学支援・奨学金の拡大

【学校の状況】

寒い日が続いたが、各校ともインフルエンザなどの流行はなく、児童・生徒は元気に年度末を迎え、1年の締めくくり、そして卒業式のシーズンを迎えた。

児童・生徒数の動向は、小学校では3校合わせて27人が卒業、36人が新1年生として入学する予定、現時点で児童の総数は157人となる見込み。

中学校では2校合計38人が卒業し、新入生は26人の予定。

現時点で生徒総数は70人となる見込み。

【平成29年度高知県児童生徒表彰について】

高知県内の小・中・高等学校などの児童生徒で、ボランティアや芸術・文化・スポーツなどにおいて、他の模範となる活動や功績が顕著な団体・個人に贈られる賞で、2月4日に高知県民文化ホールで表彰式が行われ、池川・仁淀中学校ソフトボール部がスポーツ部門で表彰された。団体の部で両校ソフトボール部がそれぞれ受賞。

個人の部でも池川中学校の片岡久也君と仁淀中学校の西森基君・西森潤君の3人が表彰。

平成29年の県大会・四国大会での優勝、全国大会での準優勝が高く評価された。

【放課後子ども教室】

放課後子ども教室は、これまで運営を社会福祉協議会に委託していたが、近年、社会福祉協議会の業務も複雑化し、人員不足などで、

継続的に受託が困難となり、30年度から教育委員会で運営を行い、これまで通り3地区で教室を開く計画。

【高等学校通学応援手当】

高等学校通学応援手当は、これまで年度末に申請を受け付けて1年分を一括支給していた。これを奨学金と一体化させ年3回の支給とし保護者の負担軽減を図り、事務処理の効率化を目指した改正。

【奨学金貸付】

仁淀川町奨学金貸付金は、高校生以上の学生を対象としてきたが、大学生は日本学生支援機構の奨学金が充実。政府においても返還不要の奨学金の創設、無利子奨学金の要件緩和などの検討がされており、町の奨学金は高校生に重点を置いた支援に切り替える。

内容としては、町内に住所を有する保護者の経済的負担を軽減し、高校生に対する貸付限度額の月額2万5千円を6万円に引き上げ、町内からの通学生はこ

のうち1万5千円を通学支援として返還不要とする。

大学生以上は、附則の中で新規貸付を30年度までとし、31年度で廃止する。

若者定住促進策の一環として、町の奨学金を返済している方で、

町内に住所を置いて働いている場合、奨学金の返済を助成する新たな制度を創設、補助金を計上、一層の定住促進につなげていく。

【当初予算】

当初予算では、夏季の気温の上昇や夏休み中の各小中学校の学習指導などへの対応のため、29年度に設計した空調機器の設置工事を行う。

キャリア教育や保・小・中連携教育の推進、学力向



放課後子ども教室

上対策、子育て支援センターを拠点とした安心して子育てができる環境づくり、不登校などの支援の必要な児童生徒への対応など、県と歩調を合わせた教育版地域アクションプランを推進するため、高知県地域教育振興支援事業などを活用し、本町の特色を生かした実効性のある教育に取り組む。

議 会 基 本 条 例 検 討 特 別 委 員 会 設 置

平成30年3月9日、仁淀川町議会会議規則第13条の規定により「仁淀川町議会基本条例検討特別委員会設置に関する決議」を提出しました。

仁淀川町議会基本条例検討特別委員会設置について

次のとおり、仁淀川町議会基本条例検討特別委員会を設置するものとする。

1. 名 称 仁淀川町議会基本条例検討特別委員会
2. 設置の根拠 地方自治法第109条及び仁淀川町議会委員会条例第6条
3. 目 的 議会基本条例の策定に関する調査研究をするため
4. 委員の定数 10人
5. 調査期間 平成32年3月31日

次のとおり仁淀川町議会基本条例検討特別委員会は、議会改革の柱となる議会基本条例の調査研究を行う。

1. 調査の項目
議会基本条例
2. 特別委員会の設置
本調査は仁淀川町議会委員会条例第6条の規定により、委員10人で構成する「仁淀川町議会基本条例検討特別委員会」を設置し、これに付託する。
3. 調査の期限
平成32年3月31日まで、閉会中もなお調査を行うこととする。
4. 理由
町民の意思を町政に的確に反映させ、住民福祉の増進及び町政の発展に寄与するため、議会の役割の明確化、議会活動の活性化、開かれた議会の実現などを柱とした議会基本条例の策定に向けて調査研究を行う。
5. 施行日
平成30年3月9日



残したい文化財



現在の泉番所の様子

1723(享保8)年、泉村の内番所として設けられ、1870(明治3)年まで通行人の取り締まりをしていた。平成15年6月改修。

日記帳

29年12月	11日	長会理事会(自治会館)
5~7日	22日	高知県町村議会議長会第69回定期総会(自治会館)
17日	11日	秋葉まつり
仁淀川町新庁舎完成式典		
18日		
高吾北地区地域安全協会役員会(佐川警察署)		
19日	27日	議会運営委員会
吾川郡町村議会議長会		
22日	3月	
議会だより特別委員会	1日	高知県立佐川高等学校卒業証書授与式【副議長出席】
25日		
新矢筈トンネル期成同盟会		
30年1月		
2日		
仁淀川町成人式		
14日		
消防出初式		
23日		
議会だより特別委員会		
2月		
2日		
議員懇談会		
7日		
第1回臨時会(初議会)		
9日		
高知県町村議会議長会		



議長(ロメモ！)

仁淀川漁協は産卵場の造成、親鮎の放流、カワウの駆除など天然鮎の遡上に力を入れている。
11月から1月にかけて産卵量を調査しているが、今季は例年になく流下稚魚が多く、豊漁を期待してよさそうだ。

議長 若藤 敏久

編集後記

このたびの議員選挙で2人の新人議員が誕生して、初陣となる定例議会に臨み、意欲満々の姿勢を見ていると、私も身の引き締まる思いがしました。

さて、前議会で約2年間議論を重ねた議会基本条例の検討は、新議会でも、議員全員による特別委員会を設置し、2年後を目標として引き継ぐことに決定。

ここで、議会基本条例とは何か、なぜ必要なのか、私の解釈を述べます。

合併前から現在に至る間、議会活動の在り方は大きく変わってきています。しかし、それが町民にほとんど認識されておらず「議会が町民のためになっている」という実感がありません。

そこで、「議員は町民から選ばれた代表者」という原点に立ち返り、町民と議会との関係、行政と議会との関係など、議会活動全般について納得いくまで議論する。そして、簡潔明瞭に文章化して公開し、持続させるのが議会基本条例だと考えます。

議会だより編集委員

藤崎 源彦